

千里シリーズ2021

下剋上再び！城戸6年ぶり千里シリーズ制覇！！

白木建太郎（レギュラーシーズン優勝）

V S

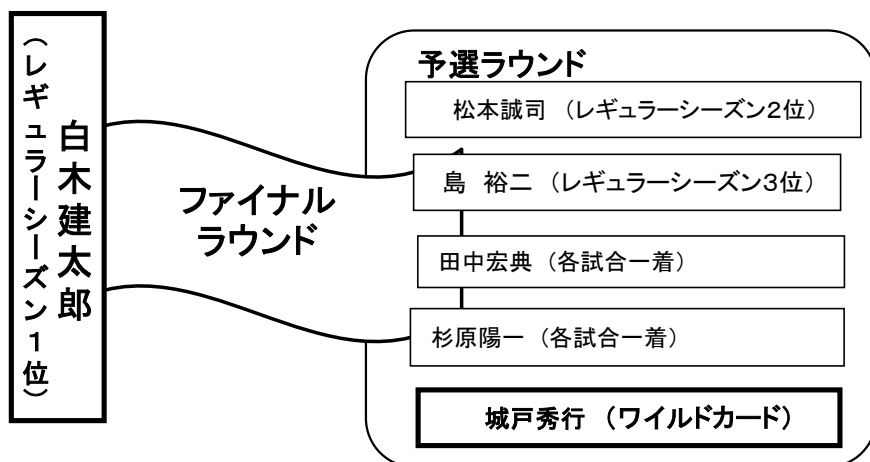
城戸秀行（ワイルドカード選出）

世界4大スポーツイベントのひとつ2021年WBF千里シリーズは10月23日土曜日、VEGAボウル曽根(予選ラウンド・ファイナルラウンド)と高田馬場グランドボウル（予選ラウンド）で開催された。

圧倒的な成績でレギュラーシーズンを制した白木建太郎選手がそのまま千里シリーズを制し、完全王者として君臨するか。はたまた予選ラウンドを勝ち抜いた負けず劣らずの実力者が下剋上を果たすか、全世界の目が注がれた。予選ラウンドは5名の参加で行われ、激戦を勝ち抜いたのは城戸秀行選手だった。

2015年以来6年ぶりの白木ー城戸対決となる千里シリーズファイナルラウンドは3勝先取方式で行われ、予選ラウンドの勢いそのままの城戸選手が3連続でゲームを取り、千里シリーズを制した。

【構成：ジョー・タカミ】



2021 WBF Championship “Senri-Series”

● 予選ラウンド

城戸秀行選手ワイルドカードからファイナル進出！

圧倒的な成績でレギュラーシリーズを制した白木建太郎選手。その白木選手のファイナルラウンドの対戦相手を決める予選ラウンドには松本誠司選手、島裕二選手、田中宏典選手、杉原陽一選手、城戸秀行選手の5名がエントリーし、2ゲーム制の試合が行われた。

1ゲーム目は各選手ウォーミングアップなのか緊張なのかビッグスコアは出ず。松本誠司選手のハンデ込169点（素点157）が暫定首位。

勝負の2ゲーム目、去年のレギュラーシーズンチャンピオン田中宏選手が6フレから7連続ストライクを決め、ハンデ込202点（素点215）。白木選手との関東軍同門対決となるかと思われたムードを破ったのが城戸選手。7フレ以降堅実なボウリングでハンデ込205点（素点182）。田中宏選手を振り切りファイナルラウンド行きの切符を手に入れた。城戸選手のファイナルラウンド進出は2015年以来6年ぶり、その時の相手も白木選手だった。前回は城戸選手が制しているが圧倒的強さを誇る白木選手がリベンジを果たすか、勢いに乗る城戸選手がいかなる戦いをするか本戦への興味は尽きない。

予選ラウンド結果

選手名	Gm	優P	入賞	得点	1	F	2	F	3	F	4	F	5	F	6	F	7	F	8	F	9	F	10	F	
田中宏典	1	0		165>>152	9	-	9	-	*		9	/	9	/	*		s8	1	9	/	*		9	/	*
松本誠司	1	0	3着	157>>169	*		8	-	*		9	/	9	-	9	/	8	/	9	/	s8	-	9	/	*
杉原陽一	1	0	4着	179>>166	9	/	9	/	9	/	9	-	*		8	/	9	-	s5	1	*		*	*	9
島 裕二	1	0		72>>119	G	5	9	-	9	-	8	-	s7	2	3	-	6	3	9	/	G	1	7	2	
城戸秀行	1	0		155>>178	*		8	/	9	/	s7	2	*		s5	2	8	/	s7	2	*		8	/	*
田中宏典	2	0	2着	215>>202	5	3	9	-	7	/	9	-	9	/	*		*		*		*		*	*	*
松本誠司	2	0		134>>146	6	/	6	3	9	-	9	/	6	2	*		s7	2	*		9	/	9	-	
杉原陽一	2	0		161>>148	8	/	*		s6	3	6	3	9	-	9	/	*		*		s8	1	G	/	9
島 裕二	2	0	5着	102>>149	4	/	1	4	8	/	6	3	*		7	1	s7	-	G	4	s8	1	9	/	5
城戸秀行	2	0	1着	182>>205	9	/	s8	/	*		8	/	s8	1	8	1	*		*		9	/	*	9	-

※ 城戸秀行選手がファイナルステージ進出

◆ファイナルラウンド第1戦◆

城戸選手 好調維持し先勝 !

白木建太郎選手対城戸秀行選手。このマッチアップは 2015 年以来 6 年ぶりとなる。前回は城戸選手が無敗で千里シリーズを制している。城戸選手の今期ハンデは 23、対して白木選手は-20、その差 43。城戸選手がこのアドバンテージを活かせるか、はたまた今期個人タイトルを総なめしている白木選手が圧倒的パフォーマンスをみせるか。ゲーム序盤両者とも素点では互角の展開。しかしこれでは白木選手は苦しい。城戸選手は 5 フレ、6 フレで連続ストライク。7 フレをはさみ、8 フレ、9 フレでダブル。白木選手もスペアで繋いでいたが、8 フレでスペアを逃し、素点で城戸選手に逆転されてしまう。9 フレも連続してスペアをとれず、点差はさらに拡大。ファイナルラウンド 1 戦目は予選ラウンドからの好調を維持した城戸選手がハンデ込 202 点で先取した。

												
白木建太郎 (シーズン優勝)	9 /	6 3	8 /	*	6 /	9 /	9 /	8 -	7 2	7 / 9		-20
	16	25	45	65	84	103	121	129	138	157		137
ハンデ込み 得点差⇒	↓46	↓46	↓34	↓34	↓42	↓42	↓33	↓54	↓65	↓65 1勝		HDCP 競技点
城戸秀行 (ワイルドカード)	9 /	9 -	8 -	9 /	*	*	s7 2	*	*	9/9		23
	19	28	36	56	83	102	111	140	160	179		202
												



◆ファイナルラウンド第2戦◆

城戸選手 連勝で王手！

今期1試合あたり平均5.19ストライクを誇る白木選手だが、第1戦では不発気味でストライクはわずか1だった。果たして第2戦からの復活はあるのか。

第2戦序盤は第1戦同様両者素点では互角だった。ところが城戸選手は4フレと5フレで連続スペアミスがあり、白木選手が素点差を拡げていく。それでもハンデ差が立ち塞がる。白木選手は6フレ以降4ストライクだったが、連弾でなかったのが影響しハンデ込171点。両者のハンデ込得点差は19までに縮まったが、6フレ以降手堅くスペアで繋いだ城戸選手がハンデ込190点で逃げ切った。白木選手にとってはレギュラーシーズンとは違う曽根のレーンでのアプローチ合わせに苦労したのか、7フレと9フレにおいてストライクが出なかったことが悔やまれる。城戸選手は2連勝でシリーズ制覇に王手をかけた。

白木建太郎 〔シーズン優勝〕	7 / *	9 /	8 /	s7 2	*	7 / *	9 /	* * 7				-20
	20	40	58	75	84	104	124	144	164	191		171
ハンデ込み 得点差⇒	↓40	↓39	↓38	↓30	↓30	↓30	↓29	↓28	↓27	↓19	2勝	HDCP 競技点
城戸秀行 〔ワイルドカード〕	9 /	7 /	9 /	7 2	6 3	*	8 /	9 /	9 /	9 / 9		23
	17	36	53	62	71	91	110	129	148	167		190



◆ファイナルラウンド第3戦◆

下剋上再び城戸選手千里シリーズ制す ！

城戸選手が連勝し、6年前と同じ展開となったが、このまま城戸選手がスweepするのか。背水の白木選手がレギュラーシーズンチャンピオンの意地をみせるのか。

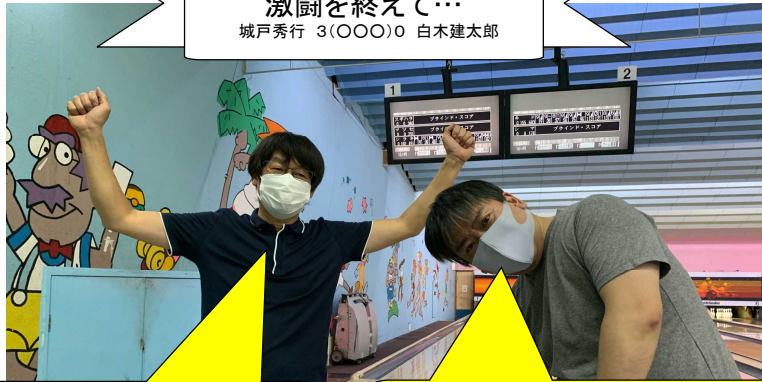
1フレ、白木選手はストライク、城戸選手はスペアで発進。2フレはお互いスペアミスで並ぶが、3フレ以降白木選手が素点でリードを保つ。試合後明らかになったのが白木選手の背中の肉離れ。その影響かストライクが続かず、6フレから9フレまでストライクが出なかったのは痛かった。対する城戸選手はストライクこそ出ないが手堅くスペアを決めていく。「ハンデ差もあるので普通に投げていれば大丈夫と思っていた」と城戸選手は語る。結局第3戦は城戸選手がハンデ込178点で同じく162点の白木選手に勝ち、2度目の千里シリーズ制覇を決めた。3勝無敗のシリーズ制覇は現行制度になって4回目。また4年連続で予選ラウンド勝者が千里シリーズを制している。

白木建太郎 〔シーズン優勝〕	* 8 1 *	9 / *	9 / 9 / s8 -	9 / * * 9	-20							
	19 28 48 68 88	107 125 133 153	182	162								
ハンデ込み 得点差⇒	↓43 ↓43 ↓32 ↓31 ↓31	↓32 ↓31 ↓31 ↓27	↓16 3勝	HDCP 競技点								
城戸秀行 〔ワイルドカード〕	9 / 9 - 8 1 9 / 9 / *	9 / s7 1 8 / 6 / 8	23									
	19 28 37 56 76	96 113 121 137	155	178								



激闘を終えて…

城戸秀行 3(000)0 白木建太郎



シリーズ制覇の城戸選手

大切な一戦。仕事より優先したよ。
(白木選手に)苦手意識はない。ハンデ差もあるし普通に投げていれば大丈夫と思っていた。
今日は10ピンマスター。(スベアが)ほぼ取れていたの、1投目も気楽にいった。変態的なレーンコンディションにも助けられた(笑)
来期はハンデが大幅に減る? ヤバいなあ、頑張るよ。

必勝を期しての遠征も実らずの白木選手

敗因は3つ!

1. アウェイでアプローチが合わなかった。調整不足。
2. 直前練習で背中に肉離れをおこした。体調管理不足。
3. 邪心があった。

来期(の千里シリーズ)は東京で開催してホームアドバンテージで完全優勝を狙う。

来期のハンデが-30? マジすか(泣)

千里シリーズ過去の戦績

※1	1989	松本誠司	4 (○ ○ ○ ● ○)	1	松本昌士	
	1990	奥山満夫	4 (● ● ● ○ ○ ○)	3	下永義久	
	1991	松本誠司	4 (○ ○ ● ○ ○)	1	島裕二	
	1992	松本誠司	4 (○ ○ ○ ○)	0	島裕二	
	1993	松本誠司	4 (○ ○ ○ ○)	0	田中寿美子	
	1994	松本誠司	4 (● ○ ● ○ ○ ○)	2	島和男	
	1995	白木建太郎	4 (● ○ ○ ○ ○)	1	田中久	
	1996	野村正明	4 (○ ○ ● ● △ ○ ● ○)	3	松本誠司	
	1997	杉原陽一	4 (○ ○ ○ ○)	0	松本香代	
	1998	松本誠司	4 (○ ● ○ ● ○ ○)	2	白木建太郎	
	1999	松本誠司	4 (○ ○ ○ ○)	0	杉原陽一	
	2000	白木建太郎	4 (○ ○ ○ ○)	0	岩田修一	
※2	2001	杉原陽一	4 (○ ● ● ● ● ○ ○)	3	ロバート・K	
	2002	白木建太郎	4 (● ● ● ○ ○ ● ○)	3	松本誠司	
	2003	松本昌士	3 (○ ● ○ ○)	1	松本誠司	◆
	2004	◆ 白木建太郎	3 (○ ● ● ○ △ ○)	2	松本昌士	◆
	2005	松本昌士	3 (○ ○ ○)	0	白木建太郎	◆
	2006	岩田修一	3 (● ● ○ ○ ○)	2	松本誠司	◆
	2007	◆ 杉原陽一	3 (○ ● ○ ● ○)	2	奥山満夫	
	2008	奥山満夫	3 (○ ● ○ ○)	1	島和男.com	◆
	2009	◆ 杉原陽一	3 (● ○ ○ ○)	1	奥山満夫	
	2010	白木建太郎	3 (○ ○ ● ○)	1	杉原陽一	◆
	2011	◆ 松本誠司	3 (○ ○ ○)	0	藤原聡	
	2012	馬場毅	3 (● ○ ● ○ ○)	2	白木建太郎	◆
	2013	杉原陽一	3 (○ ● ○ ○)	1	馬場毅	◆
	2014	杉原陽一	3 (○ ● ● ○ △ ○)	2	馬場毅	◆
	2015	城戸秀行	3 (○ ○ ○)	0	白木建太郎	◆
	2016	杉原陽一	3 (● ○ ○ ○)	1	松本誠司	◆
	2017	◆ 島和男.com	3 (● ○ ○ ● ○)	2	ジョー・タカミ	
	2018	田中宏典	3 (○ ● ○ ○)	1	白木建太郎	◆
	2019	白木建太郎	3 (○ ● ○ ● ○)	2	ジョー・タカミ	◆
	2020	松本誠司	3 (○ ● ● ○ ○)	2	田中宏典	◆
	2021	城戸秀行	3 (○ ○ ○)	0	白木建太郎	◆

※1 島裕二が前後期制覇をしているため、総合優勝は島裕二と記録。特別企画の「千里G1クライマックス」として開催。

※2 2003年以降、千里シリーズの実施方式が変更。3勝先取で優勝。
◆はレギュラーシーズン優勝